

広域科学専攻 平成 29 年度第 2 回国際研究集会出席者資金助成 募集要領
(博士・修士課程学生のための国際研究集会渡航助成)

1. 趣旨

海外で開催される国際研究集会に参加して研究成果の発表を行うため、海外に渡航する広域科学専攻博士・修士課程学生（国籍を問わない）の渡航費用の助成を行う。

2. 助成対象者

広域科学専攻博士・修士課程に在籍し（休学者は除く）、平成 29 年 12 月～平成 30 年 5 月に海外で開催される国際研究集会（サマースクールを含む）で自己の研究成果の発表を行う者とする。日本学術振興会より支援を得ている学生は除外する。出入国地は日本に限る。なお、応募者多数の場合、前年度に助成を受けた者は、除外されることもある。

3. 助成金額

上限として 20 万円／人（開催地により金額に違いあり）

4. 選考の基準

国際的に権威ある機関または団体が主催するか、或いは母体機関となっている国際研究集会出席者を対象とする。また、同一研究室から 2 名以上申請する場合は、指導教員が順位を付ける。

5. 応募方法

所定の申請書に必要事項を記入の上、広域科学専攻長に申請する。申請時には、以下の書類をメール添付にて提出のこと。

書類提出先：専攻長秘書（米盛）cyone@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp

- ・ 申請書
- ・ 学会パンフレット（開催日時・場所が分かる部分のみでよい）
- ・ 発表論文の要旨（申請時点で用意できない場合は後日提出も可）
- ・ 学会の採択通知（申請時点で用意できない場合は後日提出も可）

6. 応募締切

平成 29 年 9 月 21 日（木）17 時（厳守）

7. 選考方法

選考委員による審査の上、広域科学専攻会議で決定する。

8. 選考結果の通知

原則として渡航予定日の 1 ヶ月前までに応募者宛直接通知する。

9. 助成金の交付

助成決定後、速やかに指導教員を通して各系事務に旅費の申請を行う。

10. 報告の義務

帰国後、速やかに報告書を提出する。報告書は所属系 HP に掲載される。